

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

この研究のために自分の情報の使用を拒否される方は、問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名	当院における ERCP 後重症膵炎に対する内視鏡的経鼻膵管ドレナージ(ENPD)の検討
研究機関名	静岡県立総合病院
研究機関の長	田中一成
研究責任者	川口真矢
研究期間	2016 年 10 月 ～ 2020 年 5 月
対象者	2012 年 1 月より 2020 年 4 月までの 8 年間に当院で ERCP 後重症膵炎と診断され ENPD を施行された患者様を対象にしています。
当該研究の意義・目的	ERCP 後膵炎(PEP)は重症化すると予後不良となる。ERCP による乳頭浮腫あるいはステント留置等により生じる膵液の流出障害が PEP 発症に関連していることが考えられる。時に白血球増多や強い炎症反応から膵管への細菌感染の合併も想定される。これらの病態の治療手段として膵管ドレナージが有効と考え治療を行った。
方法	対象となる患者様の診療録(カルテ)から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none">・背景因子(年齢、性別など)、・臨床データ(画像検査結果など)および転帰
個人情報の取扱い	研究により得られた情報を取扱う際は、患者様の秘密保護に十分配慮します。研究結果を専門の学会や学術雑誌に発表することもあります。その際に患者様が特定されないことがないよう個人に関する情報(住所・氏名など)は外部に一切公表しません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
間合せ先	その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 肝胆膵内科 川口真矢 代表 054-247-6111